

【議第3号】

令和4年度 活動方針

1. 翔青高校の学校活動への協力

後輩である翔青高校生に対し、無理のない範囲で、様々な支援をおこなっていきたい。

① キャリア授業の継続

翔青高校は、教育目標にある「社会に参加」「課題を発見、解決する力」などの言葉から汲み取れるように、人生を切り開くにあたって学力向上だけではなく、社会人との接点である先輩方の体験等を交えた講義に対して興味を持って毎回好評をいただいている。

社会人集団である同窓会としても、われわれの資産である「人」を生かしながら、学校の教育目標に沿った形での支援をすべきと考える。引き続き、母校のキャリア授業への講師派遣を実施していきたい。

※今年度も新型コロナウイルスの影響のため翔青高校と調整が必要

② 保護者・生徒への教育資金の貸し出し

普通科からG C科（Global Communication）へ2年次に編入する生徒と保護者に対し、一時的必要資金の貸し出しを無利子でおこなう。学校が責任をもって保護者から回収し、卒業時に同窓会に返済することを条件にする。

*修学旅行に代わって、ニュージーランドへの海外研修がG C科では実施される。コース変更の場合に積立金が異なるため家庭によっては急には支払えない不足分が生じるという事情から

2. 同窓会費の有効活用

昨年度は、翔青高校のマイクロバスの買い替えのため、同総会費から300万円を支出し、約78万円を保護者に無利子で貸し付けたため、前年度から約400万円の会費を活用した。

同窓会として、令和4年度で創設7周年を迎える翔青高校の10周年記念行事を盛大に執り行いたいと考えています。そのため、あと3年は必要最小限の支出で同窓会運営を行いたい。